

東鷹高等学校の発展を目指して



東鷹高校
校長 吉永 俊嗣

東鷹同窓会の皆様には、常日頃から本校の教育活動に、御支援並びに御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。私は、本年の四月の人事異動により、上森哲生校長先生の後任として、嘉穂中央高等学校から赴任いたしました。これまでの教育目標である「地域に信頼される学校づくり」と「第一進路希望の実現」を継承するとともに、新しい教育課題の解決に向け、より特色を高め、生き生きとした学校づくりに努力していきたくと考えていますのでどうぞよろしくお願いいたします。本校は、大正十二年創設の鷹羽学館女子部を母体に、大正十五年に福岡県田川実業女学校として発足、以来、高等実業女学校、田川東高等女学校、田川

東高等学校と校名の変遷を経ながらも、地域の中心校として教育活動を脈々と引き継いでまいりました。そして、平成六年、番田の地から現在の白鳥の丘の白亜の新校舎に全面移転、校名を福岡県立東鷹高等学校と改称、今年で創立八十一年目を迎えています。この間、卒業生は二万四千名を超え、県下でも輝かしい歴史と伝統を有する学校に発展、本校に勤務する責任の重さを日々感じています。

赴任した最初の日に、生徒達が明るい笑顔とさわやかな挨拶で迎えてくれ、一遍で東鷹高校に親近感を抱きました。校舎は、扇型の吹き抜け天井などモダンな開放的建築物で、県下一の教育環境を誇っています。また、本校は授業・学校行事・部活動と全ての活動においても、素晴らしい教育が展開されています。中でも県下初と言われている総合選択制の内容は、普通科総合コースと総合生活科をおき、二年次で普通科総合コースは文理・国際・芸術・看護・情報・保健福祉の3つの系に別れ、被服・保健福祉の3つの系に別れ、系ごとに開講される科目を生徒自ら

が自由に選んで履修し、早い時期から進路意識が高まるよう特色あるカリキュラムが組まれています。今年の進学実績を見ると佐賀大・九工大・県立大などの国公立大学や、福大・九産大・立命館アジア大などの有名私立大学をはじめ、近年では看護医療系や音楽系の大学など、個人の目的にそったそれぞれの大学へ進学する生徒が増えています。これからも本校は「品位を高める・責任を重んずる・底力を養う」の三つの校訓のもと「地域に信頼される学校」を目指し、教師と生徒が一体となって育んできた学校文化を、今後はさらに「知・徳・体」を軸として、より強固な流れを築いていきたいと考えています。これを発展させるため全教職員が一丸となって、力の限りを尽くしていく所存でありますので、同窓会の皆様には、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、東鷹同窓会のみならずのご発展と会員の皆様への御活躍をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

◎ 管理職ご紹介

頭頭長
教頭
教頭
教頭
教頭
事務
総務
全定事

信進 弘子
篤 康啓
富下 田部
稲山 柴建

